一級自動車工学科・自動車整備科　2020年度　授業計画

時 期	２年C巡	単元	実習	教科名	総合点検
科 目	自動車整備作業	教科書等持参品	定期点検作業要領書	発行日	2020/2/17新規
			メンテナンス・ノート		
※注1 総時限	22時間			教科担当	村上　政明　※注2 ●■
※注1 授業時間	35.2時間				高須賀　啓志　※注2 ●■

一般科目と休講等予期せぬ事態に備えた余剰分を含め、合計時間は1969.6時間（50分ベース）を確保（法定合計時間１８５０時間（50分ベース））

1．指導教員の実務経験　該当　非該当

自動車整備士として総合点検の実務経験がある教員よりメンテナンスノートに記載してある保証について指導する。
また新車１ヶ月、６ヶ月、１２ヶ月点検を指導し、記録簿の記入ができるよう指導する。

2．教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

1．メンテナンス・ノートが活用できるよう習得する。
2．保証について理解できるよう習得する。
3．新車1ヶ月点検，新車6ヶ月点検，12ヶ月点検ができるよう習得する。
4．点検記録簿の記入ができるよう習得する。
5．ＥＶ車とガソリン車の点検の違いが把握できるよう習得する。

3．授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）

1．メンテナンス・ノートの記載内容の説明を通して理解を深め習熟する。
2．保証の種類，内容について理解し説明できる。
3．一人で各点検が実施できるように作業し習熟する。
4．点検記録簿の記入できるよう練習し、習熟する。
5．点検を通じて違いを理解し説明できる。

4．学習評価（期末試験での主な試験項目）

実習の評価は、レポート提出後に試験を行い、６０点以上（工学科は７０ 点以上）を合格とする
試験内容
実技試験：60%
①新車６ヶ月定期点検（Ｂ１７）
筆記試験：４０％
①保証について等。

5．準備学習

1．定期点検作業要領書であらかじめ点検内容を確認し、E.S.Mで車両の内容を調べておくこと。
2．授業終了後、教員から指示された教科書の項目について復習を行うこと。

※注1　総時限の１時限は、80分/1時限を表し、授業時間の１時間は、50分/1時間を表す
※注2　●⇒実務経験がある教員　■⇒日産資格保持者

6．指導目標

1．メンテナンス・ノートの記載内容の説明を通して理解させる。
2．保証の種類，内容について理解させる。
3．一人で各点検が実施できるように作業を理解させる。
4．点検記録簿の記入できるよう理解させる。
5．点検を通じて違いを理解させる。

一級自動車工学科・自動車整備科　　2020年度 授業計画

時 期	２年C巡	単元	実習	教科名	総合点検

５．授業概要（時限ごとの主な授業内容）

時限	主な授業内容	
1	導入・実習内容説明・資料準備・など	
2	保証について（教室にて）	
3	保障についてＥＶ車）　・車両準備	
4	前半リーフ新車１ヶ月	後半シルフィ新車１ヶ月
5	前半リーフ新車６ヶ月	後半シルフィ新車６ヶ月
6	後半リーフ新車１ヶ月	前半シルフィ新車１ヶ月
7	後半リーフ新車６ヶ月	前半シルフィ新車６ヶ月
8	前半リーフ新車１ヶ月	後半シルフィ新車１ヶ月（設問有）
9	前半リーフ新車６ヶ月	後半シルフィ新車６ヶ月（設問有）
10	後半リーフ新車１ヶ月	前半シルフィ新車１ヶ月（設問有）
11	後半リーフ新車６ヶ月	前半シルフィ新車６ヶ月（設問有）
12	前半リーフ新車１ヶ月	後半シルフィ新車１ヶ月（設問有）
13	前半リーフ新車６ヶ月	後半シルフィ新車６ヶ月（設問有）
14	後半リーフ新車１ヶ月	前半シルフィ新車１ヶ月（設問有）
15	後半リーフ新車６ヶ月	前半シルフィ新車６ヶ月（設問有）
16	リーフ：クリーンフィルター交換作業、ワイパーリフィル交換作業	
17	コンサルトⅢによるバッテリアドバイスシート、コンピュータ診断	
18	実技練習	実技練習
19	実技練習	実技練習
20	実技試験	レポート作成、筆記試験勉強
21	車両修復作業、片付け、実習場内清掃	
22	筆記試験、まとめ、レポート作成	

６．教科書、資料、備品類

資料、備品類	数量
車両：シルフィ	5
車両：リーフ	5
コンサルトⅢ（№１～５）	5
リジット・ラック	16
ガレージ・ジャッキ	4
ワイパーリフィルＲ（部品交換用）	10
ワイパーリフィルＬ（部品交換用）	10
クリーンフィルター（部品交換用）	10
フィルターカバー（部品交換用）	10

一級自動車工学科・自動車整備科　　2020年度　　授業計画

時 期	C巡	単元	実習	教科名	総合点検

７．安全（KYのため必ず授業内で説明）

番号	作業名	遵守事項	災害事例	チェック
1	フロアジャッキでの作業	・必ずリフトポイントに当てて作業を行うこと。 ・作業を行うときは声がけをすること。 ・返事がないと作業をしないこと。		
2	リジット・ラックの使用方法	・当てるポイント以外で使用しないこと。 ・４つの高さを必ずそろえること。 ・ロックピンの確認を必ず行うこと。 ・車重が均等にかかっていることを確認すること。		
3	エンジン始動時の声がけ	・周りの班員の返事がないと動かさない。	・ファンベルトへの指の巻き込みに注意。	
4	２柱リフト作動時の声がけ	・周りの班員の返事がないと動かさない。		

８．授業レイアウト（写真の貼り付けも可）

実習場	座学教室
 ①二柱リフトでリーフ５台使用。 ②１台あたり２～３名	